

回復の多様化 地域の中で

特定非営利活動法人とかちダルク

設立4周年記念フォーラム

とき 2016年3月12日(土) 13:30 ~ 17:00

ところ とかちプラザ4F 講習室401 ◆ 参加費 1,000円 (依存症、障害者の方は無料)



月乃 光司氏
(つきのこうじ)

1965年生まれ。会社員、作家、詩人。心身障害者のパフォーマンス集団『こわれ者の祭典』代表。小中学校といじめ被害体験を持つ。24歳よりアルコール依存症になり、27歳から酒を飲まない生活を続ける。イベント主催など様々な表現活動を行う。自伝的小説『アルコール依存症からの脱出・窓の外は青』を平成13年に出版アルコール依存症当事者



近藤 恒夫氏
(こんどうつねお)

1985年に「ダルク」を創設以降、薬物依存者の回復支援に尽力している。2000年に「NPO法人アパリ」を設立。国内外の薬物問題に取り組みながら、学校や刑務所などでの講演も精力的に行っている。東京弁護士会人権賞受賞(1995年)吉川英治文化賞受賞(2001年)法務省矯正局東京管区長賞受賞(2006年)



平井 慎二氏
(ひらいしんじ)

『独立行政法人国立医療機構下総医療センター』薬物依存治療部長、兼臨床研究部長、条件反射制御法学会会長。徳島大学医学部卒業。1999年に薬物乱用対策における、取締処分側と援助側の∞連携構想。条件反射制御法を開発し、2012年に条件反射制御法研究会を発足させた。「依存症」と呼ばれている病態は完治すると主張している。

■ ご案内

フォーラム終了後に「カフェくら」にて見学会を兼ねた親睦会を開催しようと考えております。こじんまりとした感じで行いますので、皆様是非いらっしやっして下さい。詳細については、とかちダルクまでお問い合わせください。

■ お問い合わせ

電話 0155-67-0911

FAX 0155-67-0912

E-mail recovery@tokachi-darc.org

特定非営利活動法人とかちダルク

HP <http://tokachi-darc.org>



帯広市西4条南13丁目1番地

